

星のかけはし

(上演時間 約20分または25分)

『七夕伝説サイドストーリー』

みんげき組

● 登場人物 (8〜10名)

おりひめ

ひこぼし (笛を吹くシーンがあります)

天の神様

ウシ (やせているシーンとやせていないシーンで、衣装に変化をつけると面白いです)

はくちよう座

さそり座 (さそりのしっぽをつけるか、お面のしっぽの絵を目立つように描いておきます)

てんびん座

へびつかい座 (へびのおもちやを両手に持って演技をすると、面白いです)

(いて座) (矢を持って面白いですが、矢を射るふりでもOKです)

(いるか座)

※星座たちはすべて、天の川を取りまく夏の星座です。図鑑などを参照して、星座の

形を厚紙に描いて頭につけるなど工夫してみると、キャラクターの個性を出すことが

でき、また、子どもたちの理科的興味を引き出すこともできるかも知れません。

※いて座といるか座は、登場しなくても成立するように作っております。セリフを削除

する、または他の星座に割り振るなどすれば、登場人物を減らすことが可能です。

ナレーター

● あらすじ

結婚したおりひめとひこぼしは、嬉しくて嬉しくて、機織りと牛の世話という大切な仕事を、なおざりにしてしまいました。怒った神様は、天の川を出現させ、二人を引き離します。悲しみに暮れる、おりひめとひこぼし。そんな二人をもう一度会わせてあげようと、夏の星座たちが立ち上がります。でも、彼らの優しい気持ちは空回りするばかりで、なかなか神様に届きません。さあ、おりひめとひこぼしは、再び会うことができるのでしょうか？

● 作者より

このお話は、同じくみんげき組作の『おりひめとひこぼし〜七夕伝説』をもとにした、サイドストーリーです。広く知られている七夕伝説のラストの、「どうやって橋がかかったか」の部分に大きくスポットを当てた、オリジナル作品です。「七夕の話はもう知っている」という年中長さんに、個性あふれる星座たちが大活躍する一味違ったお話はいかがでしょうか？

『おりひめとひこぼし〜七夕伝説』の方は、年少さん向けに書かれています。各園の七夕イベントの際などに、子どもたちの年齢に合わせてどちらかを演じていただけるように、また、二作を続けて演じていただいてもスムーズに流れるように、工夫して作りしました。

♪ 音楽

『きらきら星』

ナレーター①

おりひめとひこぼしのお話、みんな知っていましたか？ 二人がまた会えるようになって、ほんとによかったですね。

それにしても、もし星たちが、天の川に橋をかけたのだとしたら、みんなは、どうやってかけたのだと思いますか？

これから始まるのは、おりひめとひこぼしの周りで輝く、星たちのお話です。

ナレーター②

おりひめとひこぼしのお話は、みんな知っていますか？ そう。二人が、天の川によって引き離されてしまうという、七夕のお話です。

神様に許された二人は、天の川にかかった橋を渡って、年に一度だけ会えるようになるのですが、もしその橋をかけたのが、星たちだったとしたら、みんなは、どうやってかけたのだと思いますか？

これから始まるのは、おりひめとひこぼしの周りで輝く、星たちのお話です。

♪ 音楽

『きらきら星』

—幕が開く—

ナレーター

むかし、むかしのお話です。

ここは天の国。踊っているのは、夏の星座たちです。星座というのは、いくつかの星を線で結んで、動物や道具などの形を表したものです。

さあ。どんな形の星座たちが、このお話に出てくるのでしょうか？

はくちよう座

みんな、こんにちは！ ぼくは、はくちよう座。白くて大きな鳥の形だよ。

さそり座

わたしは、さそり座。お尻に毒があるってみんなは言うけど、そんなことはないと思うの。

てんびん座

ぼくは、てんびん座。いつも（左に傾き）左と（右に傾き）右、どっちにしようか迷ってるんだ。

音楽、ナレーターの声がかぶる部分は、音量を控えめに
ナレーターは、①②どちらかを読む

切りのいいところで、音楽を一旦止める
あらためて、音楽が始まる

星座たちが、楽しそうに踊っている

切りのいいところで、音楽を止める
はくちよう座、両手をぱたぱたさせる

さそり座、お尻を振る、首を傾げるなど

てんびん座、腕を左右に上げ、ゆらゆらさせる